

第 105 回 薬剤師国家試験問題検討委員会「実務」部会報告書

令和 2 年 5 月 29 日

日 時 2019 年 5 月 16 日(土) 13:00~16:30

場 所 WEB (ZOOM) 会議

出席者

私立大学	41 校	56 名
国公立大学	12 校	19 名
計	53 校	75 名

委員長名	大嶋耐之
所属大学名	金城学院大学

1. 総合評価

やや難易度は高めであるが、全体的には良問が多かったと思われる。特に、リード文における症例設定に多く工夫がみられた。さらに、例年指摘されている複合性についても、改善がなされている。しかしながら、薬の使い方や副作用対策において、ガイドラインやテキストレベルでは正解であっても、実際の臨床現場では必ずしも正解とならない問題があり、その乖離をどう考えるかは今後の課題である。さらに、将来的に薬剤師としては必要な観点であったとしても、国家試験受験時に問うべき内容かについて議論する必要がある。その他、細かな点としては、薬物の商品名と一般名の扱いなどの統一も必要と考えられる。また、問題の設定が現実的でないものや不自然な問題が散見された。

2. 各項目の評価

1) 誤りがあると判断された問題

問 86：医薬品医療機器等法施行規則第 14 条（医薬品の購入等に関する記録）にて、すべての医薬品に対して記載が義務付けられているため、選択肢 3、4 も正解となる可能性がある。

問 235：処方の記載が誤っている。（外用薬は総量記載）

問 299：アセタゾラミドは糖尿病患者へは慎重投与で、本患者への投与が可能であるため、解答が 2 つになる。

問 326：本問では AMR に対して「適切なのはどれか」とする題意であるため選択肢 4 以外は全て「適切」と判断されるため、解答不能と判断され誤りである。

問 340：問題にある処方薬剤の記載に基づく計算は可能ではあるが、存在しない薬剤の規格に基づく計算を要求すること、設問にある「同じ処方内容」なら、前回は注射針は足りなかったはずとなり設問に矛盾を生じていることなどより問題に誤りがある。

問 342：問題文に近隣薬局との関係に関して明確な記載がなく、B の薬局開設許可証の提示について判断できず、正答を得ることができないため誤りである。

2) 問題の観点から不適切である問題

問 239：通常は、検査結果を踏まえて治療方針が決まるが、設問は逆の流れになっており、不自然。セツキシマブは RAS 野生型にしか保険適応はなく、RAS 変異型では予後が悪くなるので投与すべきでないと考えられるが、遺伝子検査前にセツキシマブを投与することになっている設定は、問題がある。

問 242：イオフルパンやドパミントランスポーターシンチグラフィーは一般の病院で用いられている試薬や検査ではなく、国家試験の問題としては不適切。

問 244：医療安全の観点から重要な問題であるが、現実的に血液が付着したガーゼを高圧蒸気滅菌して産業廃棄物として処理するケースはほぼ皆無であり、基本的には滅菌することなく医療廃棄物とすることが推奨されているため、現実的でない。

問 252：ハロペリドールの用量情報がないため、錐体外路症状が出たからと言って、アリピプラゾールやリスペリドンを推奨する判断基準が難しい。

問 266：処方 1 に関する病態の詳細情報がなく、単純にエソメプラゾールを中止できる状態であるのか判断することは難しい。薬剤師がとるべき対応として間違っていないが、患者背景の情報を充実させることが望ましい。

問 268：腎機能低下の程度によっては、減量投与で構わない薬剤が正解とされているので、処方薬以外にも高度腎機能低下であることを示す文章が必要。

問 270：CYP3A5 の関与は添付文書に示されていないため、問題として不適切である。

問 273：薬剤師になってから問われるレベルの内容であり、同種・同効薬の患者背景に基づく薬剤選択を問うのは難易度が高すぎる。

問 285：疾患などを中心に患者背景も記載することが望ましい。

問 299：問題にはさまざまな要素が含まれ、趣旨が捉えづらい印象がある。患者背景に糖尿病を含める意味合いが感じられない。緑内障に的を絞る問題とするのが望ましい。

問 329：セルフモニタリングとして適切なものを選択するのか、全ての可能性（発熱→感染症）を含めて選択するかで問題の解釈が異なる可能性が考えられるが、題意から一般的な服薬指導としての必要事項を問うていると判断されるため誤りとは言えない。選択肢にはセルフモニタリングとして一般的なものを記載することでより題意が明確になると判断された。

3) 問題・選択肢の表現が不適切である問題

問 87：選択肢 2 の表現では医師が処方箋を発行したか否かが明確でないため改良の余地がある。

問 200：この薬の何について質問があったかわからない状態で、DI 担当者の説明を選択することに違和感がある。単純に「この薬剤に関する説明として適切なものはどれか。2つ選べ」の方が適切である。研修医から薬剤について質問があったとの設問であるが、研修医の質問内容が具体的に記載されていないため、リード文において、質問の内容を明確にした方が良い。

問 202：カフェインの過剰摂取からカフェイン中毒の可能性を考慮しないとならない。回答には関連しないため、カフェインの記載は不要だったのではないかと。5歳の子供に自分の（成人用の）薬を2時間おきに5回も服用させる、という設定に無理がある。重症度の推定を可能とするために尿 pH や動脈血ガス、電解質等のデータが示されているとよい。

問 205：ヒマシ油は臨床ではほとんど使用されていないため、選択肢としては不適切である。

問 207：薬物そのものの酸に対する強さを問う問題であり、前問（問 206）を踏まえ、同様の化学反応が進行する化学構造を選択する設問としては問題ないと思うが、「実務」分野の設問として適切かは疑問がある。また、問 199 にオメプラゾールの構造式が載っているため、他の薬物の構造を知らなくてもオメプラゾール錠が粉砕不可ということを知っていれば正答できる。

問 208：水溶性を増加させるための化学修飾やプロドラッグ、薬剤の代謝経路を医療チームに説明する状況はあり得ないため、現実的な選択肢にするか、リード文の変更が必要である。

問 211：高齢者に投与禁忌を問う問題なのか、一包化による変色を問う問題なのか処方意図が不明確である。添付文書に一包化不可となっているので、選択枝 2 のように分割調剤をすることも考えられる選択枝は不適切である。

問 215：花粉症の初期治療に初回から内服ステロイド薬が処方されることは現実的でない。

問 216：Na や K の濃度の単位が「mq/L」となっているが、他では「mEq/L」であるので統一すべきである。ビソプロロールテープの処方での記載が内用薬のような記載になっており、誤っている。

問 218：「優先度が最も低い」という問い方は、あまり適切ではない。また、抗がん剤投与に際して、年齢自体がこの選択枝のなかでは異質なものである。EGFR はイタリック体とすべき。

問 220：リード文中の「循環動態は安定、尿量も保たれた」という記載があるにも関わらず、腎機能の検査値が明記していないため、腎機能についての判断ができない。『腎機能が低下した場合は、適宜減量して使用する。』が望ましい。選択枝から判断すると、リード文「医師に対する、ICU 担当の薬剤師の回答」ではなく、「ICU 担当の薬剤師の医師への情報提供」である。

問 235：「カンジダと言う菌・・・」は学術的に不適切である。カンジダ属と記載すべき（カンジダは菌ではない）である。処方の記載が誤っている。（外用薬は総量記載）

問 248：「点眼直後、製剤の特徴として眼の表面で涙液と接触することにより点眼液がゲル化するため、霧視又はべたつきが数分間持続することがある」と添付文書に記載され、点眼後のべたつきが本剤が要因か確認するために連絡することもありうる。したがって選択枝 3 が誤りとは判断できない。

問 262：エゴロクマブは現時点で薬価も高く、現在の臨床において優先して推薦できる薬物ではない。また、ベザフィビラートも今回の症例の様な例で汎用されており、否定出来ない。

問 265：リネゾリドは添付文書によれば腎不全患者に対して減量不要であり、その意味では選択枝 3 は不適切と判断できる。ただ、近年のエビデンスでは腎不全患者での減量の必要性を示唆する報告も多い。

問 266：制酸剤は併用禁忌ではなく、安易な中止の提案は適切と言えない場合がある。

問 287：不適切ではないが、リード問題の処方を「14 日間」とした意義が読み取れず改良の余地がある。

問 334：SOAP 形式の問題としては良いが、自分が考える「A」を直接的に支持するデータのみを「0」に記載すれば良いように誤解されないような慎重な表現にして欲しい

問 339：問題には誤りはないが、「エドキサバン」など卒業レベルの学生が判断に迷う選択枝は避けるべきだと判断された。

4) 「複合性が不適切である問題」

物理・化学・生物（問 198、問 200、問 202、問 208、問 212、問 215、問 218）、薬理（問 248、問 251、問 252、問 254、問 256、問 258、問 260、問 262、問 265）の複合問題において、複合性が見られず、特に薬理の分野では、1 問間違えると 2 問間違える問題となっている問題が多いため改善を要す。

問 297：問 296 でナファモスタットに IgE 陽性の記述があるため、問 297 の解答に繋がる点に異議がある。例えば、実務の得意な学生が先に問 297 を解いたのなら回答は導けないことになる。リード文に説明を加えた上で連問とする必要があるため改良の余地がある。

5) 「授業で教えた内容か」

問 89：一部の大学で教えていないとの意見あり。

問 216：実務の出題基準に適合していない。薬剤師国家試験としては難しい内容と思われる。

問 228：否定的な設問にはその部分に下線がある方が良い。選択肢をみれば、ある程度正解の予測はつくが、バナナ、アボカド、キウイ、クリなどが、ラテックスアレルギーと交差反応性があることは教えていない。

問 231：フォレストプロット、ファンネルプロットについて臨床科目で教えていない。

問 268：高度腎障害における禁忌薬物を問う問題で、設問として間違いはないが、難易度は高い。

問 270：問題としては成立しているが、CYP3A5 までを問うのは範囲外ではないか？難問である。

問 285：薬剤師を対象としたものであれば、新薬の特徴に着眼したい問題であるが、国家試験の範囲として適当であるか疑問である。

問 297：難易度が高い。

6) その他特記事項（薬剤師国家試験として高く評価できた問題を含めて）

- ・以下の問題は国家試験として良問と判断された問題

問 196、問 198、問 246、問 256、問 258、問 260、問 274、問 276、問 279、問 280、問 283
問 305、問 326、問 336、問 337

- ・他の問題の設問が、解答のヒントになっている問題がいくつか見られる（問 199 と問 207）

・問題について検討する際、正答率がわかれば、設問の表現や選択肢など多くの観点からさらに深い考察ができると思う。正答率の低いものだけでも事前に教えていただきたい。

・今年度は第 105 回薬剤師国家試験作成委員をアドバイザーに迎え、会議の様子を見ていただいた。委員からも大学現場の生の声を聴くことができ、大変参考になり、次回作成委員会へ報告すると意見があった。来年からもこの試みを続けていく必要はあると考えられた。

3. 各問題の評価

別紙 1 のとおり

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
必須問題	81	0	70	0	0	70	0	0	69	1	2	67	1
	82	0	70	0	0	70	0	1	67	2	2	67	1
	83	0	70	0	0	70	0	0	70	0	1	67	2
	84	0	70	0	0	67	3	0	70	0	1	69	0
	85	0	70	0	1	68	1	1	69	0	2	68	0
	86	10	56	4	2	63	5	9	57	4	3	64	3
	87	0	70	0	1	69	0	2	64	4	1	69	0
	88	0	69	1	0	69	1	0	69	1	1	68	1
	89	0	70	0	5	62	3	0	70	0	9	52	9
	90	0	70	0	1	69	0	0	69	1	2	66	2

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
複 合 問 題	196	0	69	0	0	67	2	3	64	2	2	63	4	7	48	14
	198	0	69	0	2	66	1	0	69	0	3	62	4	4	58	7
	200	0	69	0	3	56	10	4	63	2	1	65	3	19	30	20
	202	2	67	0	0	67	2	2	65	2	1	66	2	6	50	13
	205	0	69	0	0	69	0	0	68	1	0	67	2	0	69	0
	207	0	67	2	9	50	10	4	56	9	0	66	3	7	44	18
	208	0	69	0	0	67	2	4	64	1	1	66	2	4	57	8
	211	3	60	6	5	58	6	7	55	7	0	65	4	7	49	13
	212	0	69	0	0	69	0	1	68	0	1	63	5	1	57	11
	215	0	69	0	2	63	4	1	68	0	1	66	2	4	56	9
	216	0	68	1	3	63	3	4	63	2	0	66	3	2	60	7
	218	1	68	0	2	66	1	3	64	2	1	66	2	2	59	8
	220	2	67	0	1	64	4	6	62	1	0	62	7	13	43	13
	222	0	69	0	0	69	0	2	65	2	0	68	1	0	60	9
	225	0	69	0	1	68	0	0	68	1	0	69	0	0	61	8
	226	0	68	1	1	68	0	1	67	1	0	68	1	2	59	8
	228	0	69	0	1	65	3	1	66	2	0	67	2	9	45	15
	231	0	68	1	1	65	3	3	64	2	0	68	1	2	60	7
	232	0	69	0	0	67	2	2	67	0	0	66	3	0	67	2
	235	0	69	0	0	69	0	0	67	2	1	65	3	2	63	4
	236	0	69	0	0	69	0	0	69	0	0	68	1	1	65	3
	239	0	69	0	2	65	2	2	65	2	0	68	1	1	64	4
	240	0	67	2	2	66	1	3	63	3	1	64	4	2	55	12
	242	0	70	0	1	62	7	0	70	0	0	68	2	12	46	12
	244	0	68	1	0	67	2	0	67	2	0	67	2	4	54	11
	246	0	69	0	0	68	1	1	67	1	0	69	0	0	63	6
	248	0	69	0	1	68	0	2	67	0	1	68	0	1	66	2
	251	0	69	0	0	68	1	2	65	2	1	65	3	2	58	9
252	0	68	1	2	65	2	1	64	4	2	65	2	1	65	3	
254	0	68	1	1	66	2	1	67	1	1	68	0	2	62	5	
256	0	68	1	0	68	1	2	67	0	2	66	1	2	65	2	
258	0	69	0	1	68	0	0	68	1	2	64	3	1	63	5	

	番号	誤り			適切性			表現			複合性			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
複 合 問 題	260	0	69	0	0	68	1	0	69	0	1	68	0	3	60	6
	262	0	67	2	1	66	2	2	65	2	2	66	1	2	59	8
	265	0	69	0	0	69	0	5	62	2	1	66	2	3	58	8
	266	3	64	2	5	62	2	2	64	3	0	67	2	3	58	8
	268	1	66	2	5	60	4	2	66	1	0	66	3	10	50	9
	270	1	66	2	4	58	7	5	62	2	0	67	2	9	46	14
	273	1	67	1	5	57	7	0	66	3	1	66	2	2	51	16
	274	0	68	1	0	68	1	0	67	2	0	66	3	2	57	10
	276	0	69	0	0	69	0	1	68	0	1	67	1	1	67	1
	279	0	69	0	4	65	0	4	67	1	0	69	0	1	67	1
	280	0	69	0	0	69	0	2	66	1	0	69	0	2	65	2
	283	1	67	1	2	64	3	2	66	1	0	65	4	3	57	9
	285	0	68	1	1	64	4	3	64	4	0	67	2	3	53	13
	287	1	66	2	2	63	4	3	65	1	0	68	1	1	61	7
	288	0	69	0	0	69	0	0	68	1	0	67	2	2	63	4
	291	0	68	1	0	67	2	1	66	2	0	66	3	5	53	11
	292	0	69	0	1	67	1	0	69	0	0	69	0	4	60	5
	295	0	69	0	1	67	1	1	67	1	0	69	0	5	54	10
	297	0	68	1	0	63	6	1	65	3	0	66	3	12	44	13
	299	18	45	6	5	60	4	19	45	5	0	62	7	7	49	13
	301	0	69	0	0	68	1	3	64	2	0	67	2	0	66	3
	303	0	69	0	0	69	0	0	68	1	0	69	0	1	64	4
	305	0	69	0	0	69	0	3	65	1	0	67	2	0	67	6
	307	0	69	0	2	63	4	0	67	2	1	61	7	3	62	4
	309	0	68	1	0	68	1	3	64	2	0	66	3	2	62	5
	310	0	69	0	0	69	0	0	69	0	1	65	3	1	67	1
313	1	68	0	0	67	2	0	66	3	0	67	2	2	61	6	
315	0	69	0	0	66	3	1	66	2	1	62	6	3	60	6	
316	0	69	0	0	69	0	0	67	2	0	66	3	0	66	3	
319	0	69	0	0	69	0	2	67	0	0	66	3	1	67	1	
320	0	69	0	0	69	0	0	67	2	2	64	3	0	67	2	
322	0	69	0	0	69	0	0	68	1	0	65	4	1	63	5	
324	0	69	0	0	69	0	0	69	0	1	66	2	0	66	3	

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
薬学 実践 問題	326	0	66	2	0	66	3	1	62	5	6	49	13
	327	11	51	6	4	59	5	18	46	4	4	60	4
	328	0	68	0	0	67	1	0	68	0	6	57	5
	329	5	59	4	1	65	2	6	54	8	2	58	8
	330	0	66	2	0	67	1	1	66	1	0	68	0
	331	0	67	1	0	67	1	2	66	0	1	66	1
	332	0	68	0	0	67	1	1	67	0	6	54	8
	333	0	68	0	0	68	0	0	68	0	2	62	4
	334	0	68	0	0	68	0	3	63	2	0	63	5
	335	0	68	0	0	68	0	1	67	0	3	60	5

	番号	誤り			適切性			表現			授業で教えて		
		ある	ない	わからない	不適切	適切	わからない	不適切	適切	わからない	いない	いる	一部 いない
薬学 実践 問題	336	0	68	1	0	68	1	0	67	2	5	53	11
	337	0	69	0	0	68	1	0	69	0	5	58	6
	338	1	68	0	2	67	0	3	65	1	3	56	10
	339	1	67	1	2	66	1	2	65	2	2	61	6
	340	4	63	2	4	61	4	4	64	1	8	54	7
	341	0	68	1	0	67	2	2	65	2	4	52	13
	342	5	58	6	1	62	6	10	45	14	7	48	14
	343	0	67	2	1	65	3	1	66	2	7	52	10
	344	0	69	0	0	67	2	0	66	3	5	52	12
	345	0	68	1	1	68	0	1	66	2	1	68	0

(注)数字は回答大学数である。